

(社) 日本技術士会 会員 各位

日刊工業新聞 新連載コーナーへの投稿募集

広報委員会委員長

皆様からご投稿いただきました、日刊工業新聞「勤所はここ～技術士の目線」コーナーは平成 21 年 9 月 16 日で連載終了となり、装いを新たに「課題に挑む～技術士のソリューション」コーナーが 10 月 7 日より毎週水曜日に掲載されております。広報委員会では、新コーナーでも会員の皆様の投稿を募集することいたしました。執筆戴ける会員の方は、下記内容をご覧ください、ぜひ奮って投稿いただきたく、お願い申し上げます。

記

1. 新コーナーについての日刊工業新聞社の基本的狙い

- (1) 技術エッセイ、技術解説、用語解説などにとどまらないもの。
- (2) 各テーマに基づき、「技術士」資格の基本である業務経験に裏打ちされた、技術応用・適用面でのヒント、改善事例など、読者である一般技術者の日常業務遂行の上での参考になる事例・事案等の紹介をお願いしたい。
- (3) 特にコンサルや指導の経験に基づくものでなくてもよい。

2. 内容に求められるもの

(1) 現場性

著者の業務体験に基づいた具体的事例で、できるだけ臨場感のあるものが望ましい。

(2) 技術士らしさ

一般技術者とは異なる“技術士”としての水準にある独自の視点が認められること。

(3) 応用性・広がり

他の多くの技術現場において有益であって、応用可能な要素を含み、業務のうえで参考になる内容が望ましい。

3. 形式

- (1) 本文：1,100 字程度
- (2) 図表：理解を進めるための写真あるいは図表を 1 枚

4. テーマ

「材料関連」「安全技術」「情報技術」「危機管理」「社会基盤」

5. 応募について

ご投稿は、選択したテーマと題名、氏名、会員番号、連絡先電話番号等を記載のうえ、ワード又はテキストファイルにて専用アドレス daily@engineer.or.jp までお願い致します。電子メールをご使用されない方は、郵送あるいは FAX（事務局 03-3459-1338）でも受け付けいたします。

ご投稿いただいた原稿は、広報委員会担当委員の査読があることをご了承下さい。また、掲載の可否は新聞社の判断によることもご了承下さい。

6. 掲載された例は、今後広報委員会 HP に掲載しますので、ご参考にして下さい。

7. 掲載後、新聞社より執筆料として約 10,000 円が振り込まれます。

以上